

折居清掃工場更新施設整備運営事業

落札者選定基準書

平成26年4月

城南衛生管理組合

城南衛生管理組合（以下「組合」という。）は、平成 26 年 4 月 23 日付城南衛生管理組合公告第 6 号に係る「折居清掃工場更新施設整備運営事業」（以下「本事業」という。）についての総合評価一般競争入札を行います。

組合では、今後のごみ処理のあり方として、効率的なごみの減量を進め、適正な廃棄物処理システムを構築するとともに、管内において発生するごみを長期的かつ安定的に処理できる体制の構築を目指し、ごみ処理に関する基本方針を以下のとおり定めています。

基本方針 1（排出段階での対策）：構成市町との連携による排出抑制の徹底

基本方針 2（再資源化対策）：効率的かつ多様な再資源化体制の整備による循環型社会の構築

基本方針 3（適正処理対策）：環境負荷の少ない適正なごみ処理体制の確立・継続による低炭素社会の構築

本事業においては、上記の基本方針の実現に向けて、「高効率ごみ発電施設」として余熱を有効利用するとともに、省エネルギーを図った環境にやさしい施設とすることで、循環型社会及び低炭素社会の構築を目指しています。また、各設備は最新の技術を導入し、万全の公害対策のもと、安全で住民に親しまれる施設を目指しています。本施設を 30 年稼働させることを念頭におき、長期にわたり連続して安定運転ができるものとします。

このような考えのもと、本施設の基本方針は、以下の 4 点としています。

- ① 安全・安定的に処理できる施設
- ② 環境に配慮した施設
- ③ 経済性に優れた施設
- ④ ごみの持つエネルギーと水資源の有効利用

この折居清掃工場更新施設整備運営事業 落札者選定基準書（以下「落札者選定基準書」という。）は、総合評価一般競争入札による落札者の選定に当たり、応募者から提出される事業提案を客観的に評価するための審査項目及び方法等を示すとともに、上記基本方針の達成のため、組合が応募者の事業提案に期待している具体的な内容を示すものであり、「折居清掃工場更新施設整備運営事業 入札説明書」（以下「入札説明書」という。）と一体のものです。

＜ 折居清掃工場更新施設整備運営事業 落札者選定基準書 目次 ＞

I. 落札者選定の手順.....	1
II. 入札参加資格の審査.....	2
1. 入札参加資格の審査	2
2. 入札参加資格の喪失	2
III. 優秀提案者の審査及び選定.....	2
1. 基礎審査.....	2
2. 非価格要素審査	3
3. 開札.....	3
4. 総合評価.....	4
IV. 落札者の決定.....	4
V. その他失格要件.....	5
VI. 入札の延期、中止など.....	5
別紙1 総合評価の審査について.....	6
1. 総合評価の審査項目と配点	6
2. 非価格要素審査における点数化方法	8
3. 価格審査における点数化方法	8
4. 総合評価点の算定方法	8
別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点	9

I. 落札者選定の手順

落札者を選定するため、図1に示す手順で総合評価一般競争入札を実施します。

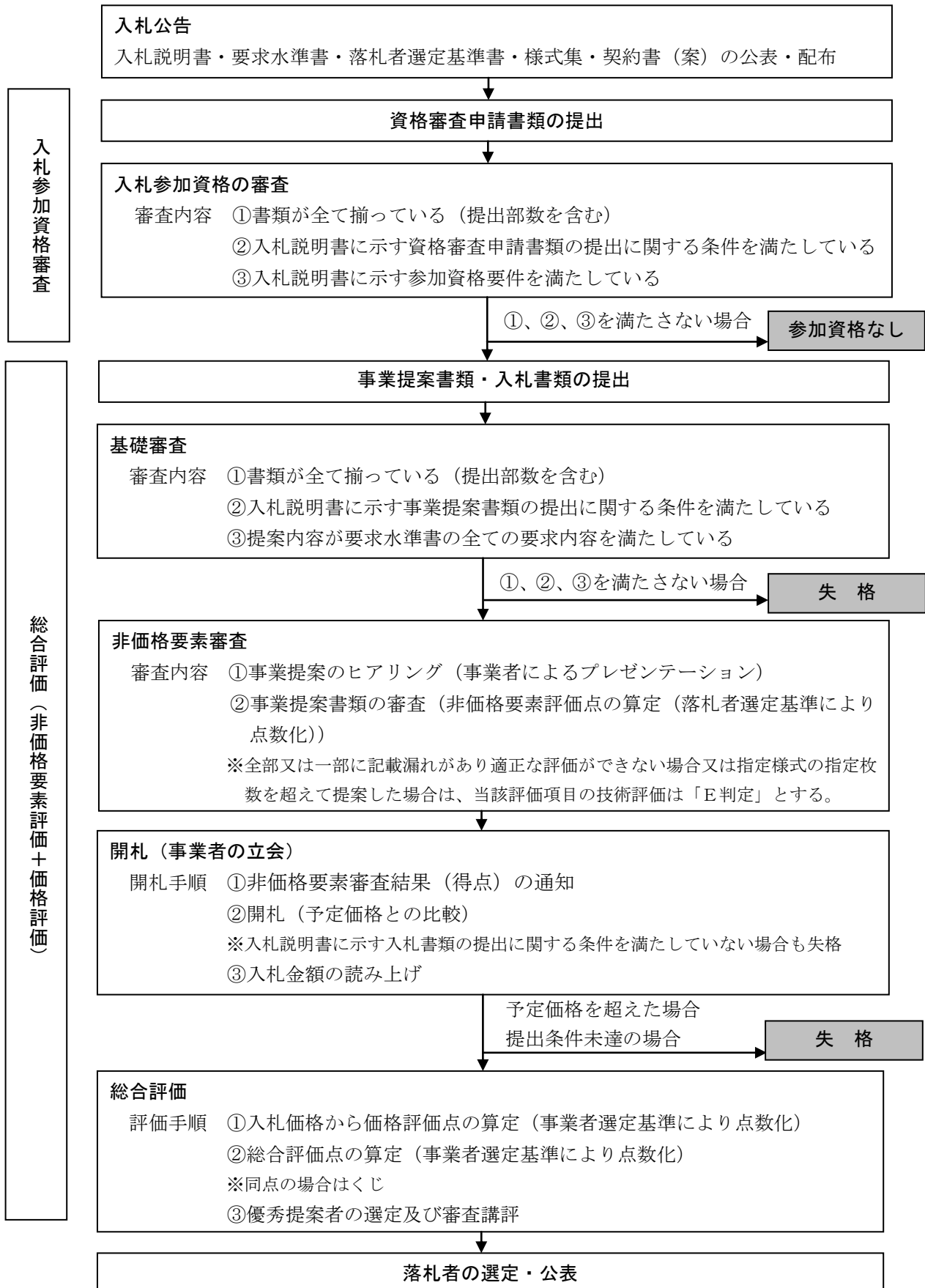


図1 落札者選定の手順

II. 入札参加資格の審査

1. 入札参加資格の審査

組合は、応募者より提出された資格審査申請書類が、以下の①～③の条件を満たす応募者について参加資格を有するものとします。

なお、入札に参加できる応募者は、参加資格要件を満たすことが確認された応募者のみとし、参加資格要件を満たすことが確認されなかった応募者は参加することができません。

- ① 提出書類が、全て揃っていること。(提出部数を含む。)
- ② 応募者が「入札説明書 Ⅲ 3 (1) 資格審査申請書類の提出」に示した提出書類を期限内に決められた方法で提出していること。(各様式の記載要領にしたがってください。なお、押印の不備の場合は参加資格がないものとします。)
- ③ 応募者が「入札説明書 Ⅲ 4 応募者の参加資格要件」に示した要件を満たすこと。

2. 入札参加資格の喪失

入札参加資格の審査を通過した応募者が、資格審査申請書類の受付期間の最終日から落札者の決定の日までの間に、入札参加資格要件を喪失したときは、入札参加資格を取り消し、組合より書面にて通知します。

また、次の①又は②に該当する場合は、応募者変更申請書(第2-12号様式)と合わせて資格審査申請書類を組合に提出し、本事業の円滑かつ確実な履行に支障がないと組合が認めた場合は、入札参加資格は引き続き有効とします。

なお、落札者となった者が事業契約締結までの間に、入札参加資格要件を喪失したときは、組合の判断により契約締結しないことがあります。

- ① 事業提案の受付の最終日までにグループ内の法人のいずれかが入札参加資格を喪失し、当該法人以外の法人のみでグループを再編成する、若しくは新たな法人を加え、グループの再編成を行う場合。
 - ② 事業提案の受付の最終日から落札者の決定の日までの間に、代表企業を除くグループ内の法人が入札参加資格を喪失し、当該法人以外の法人のみでグループを再編成する、若しくは新たな法人を加え、グループの再編成を行う場合。
- なお、入札参加資格を喪失した法人が、当該グループの代表企業であった場合は、当該応募者の入札参加資格を取り消すものとします。

III. 優秀提案者の審査及び選定

1. 基礎審査

組合は、応募者より提出された事業提案書類を確認し、以下の①～③の条件を満たさない応募者を失格とします。

- ① 提出書類が、全て揃っていること。(提出部数を含む。)

- ② 応募者が「入札説明書 Ⅲ 5 (1) 事業提案書類・入札書類の提出」に示した提出書類を期限内に決められた方法で提出していること。(各様式の作成要領にしたがってください。なお、押印の不備の場合は、失格とします。)
- ③ 提案内容が要求水準書の全ての要求内容を満たしていること。(要求水準に関する誓約書の確認を含む。)

2. 非価格要素審査

非価格要素審査の審査は、「城南衛生管理組合折居清掃工場更新施設整備運営事業者選定委員会（以下「事業者選定委員会」という。）で行います。

(1) 事業提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングの実施

事業者選定委員会は、事業提案書類・入札書類を提出した応募者を対象に事業提案書類に関するプレゼンテーション及び技術ヒアリングを以下のとおり実施します。

- ① プレゼンテーション及び技術ヒアリングは、平成 27 年 1 月中旬を予定していますが、実施日時、実施場所、実施方法など詳細については、別途通知します。
- ② 実施内容は、応募者の事業提案書類に関するプレゼンテーション及び質疑応答とします。

(2) 非価格要素審査

事業者選定委員会は、事業提案に関するプレゼンテーション及びヒアリングを実施した後、「別紙 1 2. 非価格要素審査における点数化方法」に基づき、事業提案書類に記載された内容のうち、要求水準書等の水準を超える部分に対して、「別紙 2 非価格要素審査において審査する項目及び視点」により評価を行い、非価格要素の評価の点数（以下「非価格要素評価点」という。）を決定します。

3. 開札

開札は、応募者（代表者又は代理人）が立ち会いのうえで実施します。

また、事業者選定委員会の代表者が同席のもとで実施します。

(1) 開札の流れ

開札の流れは以下のとおりとします。

- ① 非価格要素評価点の読み上げ
- ② 入札書類の開封
- ③ 失格の有無の確認及び報告
- ④ 入札金額の読み上げ

(2) 予定価格との比較

組合は、入札書類の開封時において、応募者が提出した入札書の入札金額が予定価格を超えていないか確認し、予定価格を超えた入札書は無効とします。

結果として、応募者を失格とします。

(3) その他の失格要件

組合は、応募者より提出された入札書類を確認し、以下の①～⑩のいずれかに該当するときには、入札書類は無効とします。

結果として、応募者を失格とします。

- ① 入札に参加する資格のない者。
- ② 同じ入札に2以上の入札（他人の代理人としての入札を含む。）をした者。
- ③ 入札に関し不正の利益を得るための連合その他の不正行為をした者。
- ④ 金額、氏名、印鑑及び重要な文字の誤脱若しくは不明な入札書又は金額を訂正した入札書で入札した者。
- ⑤ 鉛筆、シャープペンシルその他の訂正の容易な筆記具により入札書類に記入したとき。
- ⑥ 入札関係職員の指示に従わない等入札場の秩序を乱した者。
- ⑦ 代理人による入札の場合において、委任状を提出しないとき。
- ⑧ 入札金額内訳書の提出がないとき。（第3-3-2号様式及び第3-3-3号様式）
- ⑨ 入札書において記載される入札金額（総額）と入札金額の内訳に記載されるそれぞれの金額の合計が合致しないとき。（第3-3-1号様式～第3-3-3号様式の中で合計が合致しないとき。）
- ⑩ その他入札条件に違反した者。

4. 総合評価

(1) 価格評価点の算定

組合は、「別紙1 3. 価格審査における点数化方法」に基づき、予定価格以下の入札書に対して価格評価の点数（以下「価格評価点」という。）を算定します。

(2) 総合評価点の算定

組合は、予め事業者選定委員会が決定した非価格要素評価点と算定した価格評価点から「別紙1 4. 総合評価点の算定方法」に基づき、応募者の総合評価点を算定します。

(3) 優秀提案者の選定

組合は、総合評価点の算定結果を事業者選定委員会に通知します。

事業者選定委員会は、総合評価点を確認し、優秀提案者を選定します。

なお、最も高い総合評価点が2者以上あるときは、応募者にくじを引いてもらい優秀提案者を設定します。応募者がくじを引かない場合は、入札事務に関係のない組合職員にくじを引かせて優秀提案者を決定します。

IV. 落札者の決定

(1) 落札者の決定

組合は、事業者選定委員会で選定された優秀提案者に対し、本事業を実施するに相応しいと判断し

た場合、落札者として選定します。

組合は、落札者の決定後、落札者及び審査結果を取りまとめて公表します。

(2) 低入札価格調査制度の適用

本事業は、組合の低入札価格調査制度の適用対象となります。低入札価格調査基準価格を下回る入札があった場合は、低入札価格調査等を実施のうえ、落札者を決定するものとします。

V. その他失格要件

前章までの規定に係わらず、以下に該当することが確認された場合は失格とします。

- ① 資格審査申請書類、事業提案書類・入札書類等の応募者が本入札に関して組合に提出した書類に虚偽の記載がある場合
- ② 著しく信義に反する行為をした場合
- ③ 関係者（城南衛生管理組合折居清掃工場更新施設整備運営事業者選定委員会の委員を含む。）に対する工作など不当な活動を行ったと認められる場合
- ④ その他、落札者となることに相応しくないと判断した場合

VI. 入札の延期、中止など

組合が必要と認めたときは、入札を延期し、中止し、又は取り消すことがある。その場合、応募者は損害賠償等の請求はできない。

別紙1 総合評価の審査について

1. 総合評価の審査項目と配点

総合評価の審査は、非価格要素審査と価格審査とを行います。非価格要素の評価と価格評価の配点は以下のとおりとします。

総合評価の審査項目は、組合及び事業者選定委員会が応募者の提案に期待している事項であり、配点はその重みを示すものです。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点」に記載しています。

項目	大項目	中項目	小項目	配点
非価格要素審査	取組み方針 (2点)	環境負荷の少ない適正なごみ処理体制の確立・継続による低炭素社会の構築の具現化方法及び組合への協力姿勢 (2点)		2点
	安全・安定的に処理できる施設 (27点)	長期に安全・安定処理できるプラント設計 (8点)	焼却性能向上、安全性向上等の取組み	3点
			建築物構造計画、主要設備の耐用年数と修繕計画、点検計画、保全計画、耐震計画	3点
			計画外修繕対応	2点
		安全施工・解体計画及び環境配慮型施工・解体計画 (3点)	工程管理、品質管理・安全管理計画、廃棄物発生抑制	3点
		安全配置 (4点)	配置・動線計画 更新施設の修繕時の動線・スペース確保	4点
		安定稼働(運転)の実現 (3点)	ごみ量、ごみ質の変動への対応 トラブル発生時の対応	3点
		安定運営 (7点)	人員配置、SPCと出資会社の協力体制	2点
			事業収支計画	2点
			リスク管理計画、不適正ごみ混入防止対策	3点
		事業終了時の円滑な引継ぎ計画 (2点)	事業引継ぎ提案	2点
	環境に配慮した施設、ごみの持つエネルギーと水資源の有効利用ができる施設 (22点)	循環型社会及び低炭素社会の構築 (7点)	年間売電量、低温排熱利用	3点
			地球温暖化ガス発生量、省エネルギー機器・低環境負荷材料の使用	2点
			最終処分量低減	2点
		意匠・景観計画 (5点)	景観デザイン	2点
			空間・緑化計画、周辺環境への配慮 白煙防止対策	3点
		環境保全性能 (2点)	稼働時の環境保全性能	2点
		環境学習計画 (8点)	施設見学動線	2点
			教育設備の設置と更新 環境教育のための仕掛け、施設見学への協力	4点
	太陽光発電、屋上・壁面緑化、雨水利用		2点	

項目	大項目	中項目	小項目	配点
非価格 要素 審査	その他の提 案 (9点)	地域共存 (7点)	地元企業の活用、資材調達への協力、運転員 雇用	3点
			情報公開、環境啓発メニュー 地域との連携	4点
		その他有効な提案 (2点)		2点
	非 価 格 要 素 評 価 点			60点
価格 審査	価 格 評 価 点			40点
総 合 評 価 点 (非価格要素評価点と価格評価点の合計)				100点

2. 非価格要素審査における点数化方法

- (1) 非価格要素評価点は、事業提案書類の審査項目（小項目）ごとに、次に示す5段階により評価、点数化し、その合計点とします。（点数の端数処理はしません。）

評 価	説 明	点 数
A	特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準書を満たす程度である	配点×0

- (2) 事業提案書類の審査は、事業者選定委員会で評価し、非価格要素評価点として点数化します。
- (3) 事業提案書類の全部又は一部に記載漏れがあり適正な評価ができない場合や指定様式の指定枚数を超えて提案した場合は、当該評価項目の技術評価は「E判定」となりますので、ご注意ください。

3. 価格審査における点数化方法

価格評価点は、入札金額（設計・施工業務と運營業務の合計額とし、第3-3-1号様式に記載する金額をいいます。消費税及び地方消費税相当額は含みません。）に基づき、次の式により点数を算定します。

なお、算定式で求める点数は小数第3位を四捨五入した値とします。

【価格評価点の算定式】

$$\text{当該応募者の価格評価点} = \text{配点} \times \left(\frac{\text{全応募者中の最低入札金額}}{\text{当該応募者の入札金額}} \right)$$

4. 総合評価点の算定方法

「2. 非価格要素審査における点数化方法」で得られた非価格要素評価点と「3. 価格審査における点数化方法」で得られた価格評価点を用いて、次に示す算定式により、各応募者の総合評価点を算定します。

【総合評価点の算定式】

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素評価点} + \text{価格評価点}$$

別紙2 非価格要素審査において審査する項目及び視点

事業者選定委員会では、以下の各項目について審査を行います。

大項目	審査項目			主な評価の視点
	中項目	小項目	記述事項等	
取組み方針	環境負荷の少ない適正なごみ処理体制の確立・継続による低炭素社会の構築の具現化方法及び組合への協力姿勢		基本的考え方 等	実施効果（期待度）
安全・安定的に処理できる施設	長期に安全・安定処理できるプラント設計	焼却性能向上 安全性向上等の取組み	安定燃焼の仕組み トラブル事例と技術革新 等	具体性 実施効果（期待度）
		建築物構造計画 主要設備の耐用年数と修繕計画、点検計画、保全計画、耐震計画	概略構造図 地震・台風対策 主要設備の耐用年数と修繕計画、点検計画、保全計画、耐震計画の考え方 30年計画 等	具体性 妥当性
		計画外修繕対応	対応の考え方 等	具体性 実施効果（期待度）
	安全施工・解体計画及び環境配慮型施工・解体計画	工程管理、品質管理・安全管理計画 廃棄物発生抑制	概略工程表と管理方法 品質管理・安全管理計画 公害防止対策（騒音、振動等） 廃棄物発生量、残土処分量 等	定量比較 具体性 妥当性
	安全配置	配置・動線計画 更新施設の修繕時の動線・スペース確保	配置・動線計画図（更新施設建設時、現有施設解体時、事務所棟建設時、完成時の目的別車両動線や歩車分離計画、更新施設の修繕方法等） 屋外/屋内動線の連動計画 等	妥当性 利便性 実施効果（期待度）
	安定稼働（運転）の実現	ごみ量、ごみ質の変動への対応 トラブル発生時の対応	性能曲線とごみ量、ごみ質の変動への対応提案（操炉計画、協力体制等） フェールセーフ設計（事前発生防止、発生時の被害拡大防止計画等）、トラブルの対処方法 等	実現性 具体性 妥当性 実施効果（期待度）
	安定運営	人員配置、SPCと出資会社の協力体制	人員配置及び組織体制図（通常時、緊急時、トラブル時の人員配置・組織体制等） SPCと出資会社の協力体制（通常時、経営悪化時等の協力体制） 等	具体性 妥当性
		事業収支計画	資本金、保険、劣後融資、利益等の考え方 等	具体性 妥当性
		リスク管理計画、不適正ごみ混入防止対策	リスク分析（責任所在） 不適正ごみ混入防止計画 等	具体性 実施効果（期待度）
	事業終了時の円滑な引継ぎ計画	事業引継ぎ提案	トラブル回避策等	具体性 実施効果（期待度）
環境に配慮した施設、ごみの持つエネルギーと水資源の有効利用ができる施設	循環型社会及び低炭素社会の構築	年間売電量、低温排熱利用	年間売電量と操炉計画及び発電効率（安定発電方法） 低温排熱の利用方法 等	定量比較 実現性
		地球温暖化ガス発生量、省エネルギー機器・低環境負荷材料の使用	地球温暖化ガス発生量 省エネルギー機器・低環境負荷材料の使用内容と効果 等	定量比較 実現性 実施効果（期待度）
		最終処分量低減	最終処分量（焼却灰、飛灰等） 低減策と発生量 等	定量比較 実現性 実施効果（期待度）

		審査項目		主な評価の視点
大項目	中項目	小項目	記述事項等	
環境に配慮した施設、ごみの持つエネルギーと水資源の有効利用ができる施設	意匠・景観計画	景観デザイン	イメージ図 工夫点 等	妥当性 バランス性
		空間・緑化計画、周辺環境への配慮 白煙防止対策	緩衝帯、建屋高さ 白煙を見えにくくする工夫 等	妥当性 具体性 実施効果（期待度）
	環境保全性能	稼働時の環境保全性能	要監視基準値と遵守方策 排水量（下水放流量） 等	実現性 妥当性
	環境学習計画	施設見学動線	施設見学動線図 イメージ図 等	利便性 妥当性
		教育設備の設置と更新 環境教育のための仕掛け、施設見学への協力	機器更新、ソフト更新計画 等 再来場を促す仕組み、教育プログラム 施設見学への協力内容提案 等	具体性 実施効果（期待度）
		太陽光発電、屋上・壁面緑化、雨水利用	太陽光発電（発電出力等） 屋上・壁面緑化面積とメンテナンス方法 雨水利用先と利用量 等	定量比較 実現性 実施効果（期待度）
その他の提案	地域共存	地元企業の活用、資材調達への協力、運転員雇用	貢献金額及び雇用率 上記を実現する仕組み 等	定量比較 具体性 実現性
		情報公開 環境啓発メニュー 地域との連携	情報発信内容及び発信方法 施設特性を踏まえた社会貢献・地域貢献メニュー 通常/災害時の住民の施設利用 地域イベント等の参加 等	具体性 実現性 実施効果（期待度）
	その他有効な提案		具体的内容の提案 等	具体性 実現性 実施効果（期待度）